「2026 年度 コンクリート技士・主任技士研修」正誤表および確認テストの訂正

「2026 年度コンクリート技士・主任技士研修テキスト」および「e ラーニングコンテンツ（確認テスト)」の内容について、以下のとおり訂正・補足いたします。ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

2026 年 10 月 30 日 コンクリート技士研修委員会

1. 技士・主任技士研修テキストの訂正

章	節	ページ	該当箇所	誤	正
1	1.6	40	図 1.6-1	参考文献 1)	参考文献なし
3	3.6	158	左列上から 5・7 行目	SiO^2	SiO_2
6	6.6	236	右列下から 9･12 行目	CO^2 $CaCO^3$	CO_2 $CaCO_3$

2. e ラーニング確認テストの修正および質問への回答

土木系：コンクリート標準示方書［規準編］の制定年について

■ 土木編確認テスト中に「コンクリート標準示方書基準編 2022 年制定」とあったので基準編は 2023 年制定のはずなので×としたところ不正解となった。設問の間違いではないのか？

正解： ×

回答・訂正内容：

ご指摘のとおり、最新の規準編は 2023 年制定ですので、確認テストの設問、解説が正しい記載となっておらず、申し訳ございません。

土木系：コンクリート標準示方書［施工編］と［設計編］の該当範囲について

■ 土木学会 2022 年制定コンクリート標準示方書［施工編］では，2021 年に土木学会から発刊された「プレキャストコンクリートを用いた構造物の構造計画・設計・製造・施工・維持管理指針(案)」の内容を踏まえ，JIS 製品については比較的大型の部材を対象にするなどプレキャストコンクリートの編の内容を充実させている。答えは〇となっていますが、施工編でなく設計編なので×が正解ではないでしょうか。

正解： ×

回答・訂正内容：

ご指摘のとおり、記載の内容は土木学会 2022 年制定コンクリート標準示方書［施工編］ではなく、土木学会 2022 年制定コンクリート標準示方書［設計編］の内容なので、確認テ

ストの設問、解説が正しい記載となっておらず、申し訳ございません。

建築系：収縮ひび割れ制御設計・施工指針における条件表記について

- ■ 建築系の 9 番目に出た設問で、テキストには仕様設計の項目に設問と同様の内容が記されていて，性能設計項目には記載が無かったので、×としたところ不正解でしたが、〇が正解ですか。
- ■ 日本建築学会「鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ制御設計・施工指針・同解説」（2023 年版）では，収縮ひび割れ対策を性能設計で行う場合，コンクリートの設計基準強度の対象範囲を 48N/mm²以下としている 答えは〇でしたがテキストでは性能設計でなく仕様設計と記載されていました．性能設計も 48N/mm² なのでしょうか
- ■ 第 3 章日本建築学会 JASS5 および関連指針の概要の確認テストの問題の一つに、収縮ひび割れ制御指針の改定内容に関する問題があったかと思います。問題文は、「性能設計」を行う場合の質問であるのに対し、解答後に表示される解説文は「仕様設計」を行う場合の説明であったように見えました。解説文が問題に対する解説として適切かどうか、いまいち判然としない印象を受けました。また、場合によっては正解が変わる可能性があるのではないかという点が気になりました。

正解： 〇

回答・訂正内容：

e ラーニングコンテンツでは、仕様設計の場合、設計基準強度が 48N/mm²に引き上げられた旨が解説されており、確認テストの「性能設計」は「仕様設計」が正しい記載となります。確認テストの設問、解説が正しい記載となっておらず、申し訳ございません。